

たかはぎし 議会だより

No.121

2012年11月5日 発行

発行 高萩市議会

発行責任者 議長 吉川 道隆

編集 集 高萩市議会だより

編集特別委員会

〒318-8511 茨城県高萩市春日町 3-10-16

電話 (0293) 23-5373



10月3日指定廃棄物最終処分場候補地の白紙撤回を求める意見書を全会一致で可決する

主 な 内 容

市政に対する一般質問 …	2
議案に対する質疑 ………	7
討 論 ……………	8
議案等審議結果 ………	9

去る10月15日、第4回臨時会が開かれ、市長から平成24年度一般会計補正予算が提案され審議しました。

平成24年第4回臨時会

去る10月3日、第3回臨時会が開かれ、指定廃棄物の最終処分場候補地の白紙撤回を求める意見書案が議員提案され審議しました。

平成24年第3回臨時会

去る9月7日から26日までの20日間の日程で、第3回定例会が開かれ、市長から人事案件、条例の制定及び一部改正、平成24年度補正予算、平成23年度一般会計等の決算認定について提案され審議しました。また、決議案1件、意見書案1件が議員提案され審議しました。

平成24年第3回定例会

去る8月3日、第2回臨時会が開かれ、市長から専決処分関係議案、平成24年度一般会計補正予算ほか提案され審議しました。

平成24年第2回臨時会

今川敏宏 議員

1. 復興について
- ①避難計画について
- ②新市庁舎について
- ③太陽光発電の利益を市民に広く享受させるために

昨年3月11日からちょうど1年と半年が経ちました。当時はその被害の大きさから、なんとしてもなんとかすると気は張っていたものの、内心は「この先どうなるんだろう」と不安がよぎるようなことが幾度となくありました。

必至で取り組んだ3ヶ月が過ぎようとしたとき、そう昨年の6月8日午前11時、「JOYZ30FM、こちらは茨城県高萩市たかはぎさいがFMです。」と、FMラジオから、いかにもぎこちなく、訛りまじりの若い女性の声、その真摯なしゃべり声は高萩が復興に向かう、協力を呼びかける、まさにカオスに響く天の声に感じました。萎えそうな心に再び火をおこすように、感動で涙が溢れました。そして高萩はがんばれると確信したのでした。

それまでは崩壊箇所の応急措置的奮闘に四苦八苦してただけだったものが、FMからいろんな情報が聴けるんだ、流せるんだという安心感で、復興への希望が湧いたのです。私はいます。高萩の復興はたかはぎさいがFMの開局が発

点だったと。なぜなら、今までなかったところから、経験のないことをやって見せてくれたからであります。そうして始まった復興への道。復興とは将来像の実現だと思っています。30年後の高萩はどんなでしょう。30年後私は生きていれば80歳になります。高萩市の復興には、私よりも

もっともつと若い人たちが陸続と立ち上がり、将来の自分たちのまちを、自分たちでつくっていくとするエネルギーとパワーが不可欠なのです。今議会から議会のインターネット中継が始まりました。録画でも見ることが出来ます。たかはぎ災害FMでも音声放送しています。わざわざ議場においてになって傍聴されてる方もいます。

私はこの視聴者の中から立ち上がる人が出てくることを信じて一般質問を終わります。



H 23. 6. 8 さいがいFMの開局

寺岡七郎 議員

コミュニティFMについて

質問 市長はコミュニティFMを災害に強いまちづくりという名のもとに、来年4月1日から行いたいと明らかにしております。しかし災害にコミュニティFMは間違いである。災害を市民に知らせるということにおいては、屋外防災無線機と戸別無線機で行うことが、最も効率的な活用であります。いろいろの事業をするのに財源不足でできない状況の中でコミュニティFMに何千万円もこれからつぎ込もうとしている。数年前第2の夕張などと考えていた自治体かと思うと考えられないことである。そこで伺いますが。

- ①第1に補助の対象は公益団体か公益事業と考えているのか。
- ②第2に地方自治法232条の2に普通地方公共団体はその公益上必要な場合においては寄附、または補助ができるとなっております。また公益性を誰が判断するのか。
- ③コミュニティFMはどの程度の費用を予定されているのか。

コミュニティFMは民間放送であります。市町村の固有の事務ではありません。それが証拠に市町村では許可がとれません。それなのにやらせのコミュニティFMをやるうとしております。民間人がやるのではな

く、民間人の名を借りて行政がコントロールして行おうとしている。しかもその内容は行政とは直接関わりません。災害がおきた時は使えるということですが。心ある市民はこれらの真実を知るならば大変な怒りであると思います。いかに税金の無駄使いであるかを多くの市民がだんだん知ってくると思います。コミュニティFMは災害に名を借りた市長の趣味の世界であります。私はコミュニティFMに手をだす財政的な余裕があるとは思えません。今後、市民は消費税の値上がり、12月議会においては国保税の値上げ、また、水道料金の値上げが予定されております。今後市民生活はより厳しい状態に追い込まれてきます。改めて聞きたいけれども、本来行政の責任で行わなければならない予算よりコミュニティFMが重要だと考えている根拠は。



屋外防災無線機

市長 コミュニティFMは市民生活を守る観点で考える必要があると思います。

経営戦略部長 費用については放送用設備関係2千600万円、運営費については年間2千700万円です。

大森要二 議員

市内小中学生のいじめ問題について
質問 最近テレビ、新聞等で毎日のように小中学生のいじめ、自殺のニュースが後を絶たないと感じていることと思います。昨年10月に滋賀県大津市で、中学2年生が友達からいじめに遭い、自殺をするという事件が発生し、自殺は、学校や教育委員会の対応のまずさや事件を隠ぺいしようとする姿勢も見られて、全国的に大きな問題になっていることは十分承知のことと思います。また、常陸太田市でも、いじめが原因と思われる中学2年生の自殺が発生しました。市内の学校でのいじめの発生状況はどのようなになっているのか、また、いじめの内容についてお伺いいたします。



教育部長 小中学校におけるいじめの実態ではありますが、今年度の4月から7月までにいじめと認知した件数につきましては、小学校で10件、中学校で4件であります。その主な内容といたしましては、悪口やあだ名を言われた、無視された、仲間外れにされた、給食に紙切れを入れた。
質問 学校、教育委員会が積極的に対応していることはよくわかりました。今後、教育委員会としてはいじめの問題に対して、どのような姿勢で取り組んでいくのか、また、学校に対して今後どのように指導していくのかをお伺いして質問を終わります。
教育部長 県からの指示によって、各学校においては9月18日までに2回目のいじめの実態把握調査と校内の職員研修を実施し、報告することになっております。その中では、携帯電話やパソコンでの悪質なメールの件数も調査することになっております。教育委員会といたしましては、その調査の結果の報告を受けて、いじめが再発していないか、学校が子供たちから情報が入りやすい環境に改善されているかなどについて、点検、指導しています。今後、いじめの早期発見と早期の適切な対応に努めるとともに、道徳教育、人権教育等を通して、いじめの防止に努力してまいります。

鈴木英樹 議員

全国学力テストについて

質問 本年4月に実施されました全国学力学習状況調査につきまして、実施される背景から賛否意見あるところとあります。今回の学力調査方法について以下の事項について伺う。

- 一、調査のメトリックはどうなのか
 - 二、調査対象となる児童生徒とは
 - 三、調査の内容はどういうものか
 - 四、抽出校調査の背景について
 - 五、本市における抽出校について
 - 六、抽出されない学校への対応
- 教育部長** ゆとり教育の趣旨は間違っていないと考えます。

教育部長 調査対象児童生徒は、国・公・私立の小学六年生、中学三年生です。調査事項は教科調査と質問紙調査です。統計上抽出した学校数で十分な傾向がつかめる背景があります。今年度の本市の抽出校は小学校2校、中学校3校です。抽出されない学校は、無償提供された問題で実施しました。

質問 抽出校と自主参加した場合があるが、自主参加校はどのように取り扱うのか。また、今回の調査結果を受けて、今後の学力向上にどのように役立てるのか。

教育部長 自主参加校については、自分の学校で採点をし、分析をし、学校の傾向を把握して指導に生かします。調査結果より、指導上の課題を

明らかにして、授業の改善、個別指導に役立てます。

質問 人として生きる力、すなわち基本的倫理観、社会的マナー、自制心や自律心の育成が最も重要である。
教育部長 学力向上に偏ることなく知・徳・体のバランスのとれた発達を目指すべきである。

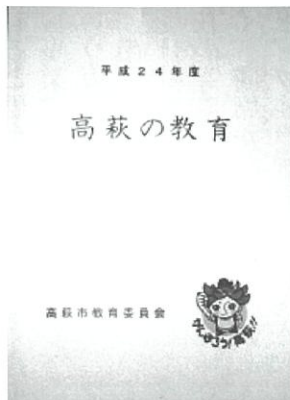
生涯学習について

質問 現在さまざまな活動事業が各方面で推進されていますが、それぞれの活動事業の取り組みについて伺う。

教育部長 生涯学習の推進取り組みとして、生涯学習環境整備の施設整備があります。また、学習機会の提供として取り組んでおります。

質問 生涯学習活動への今後の取り組みについて伺う。また、生涯学習活動と生涯現役社会づくりの関連性についてはどうか。

教育部長 多くの方に参加していただくための方策として、チラシ、ポスター、市報等で行っています。生涯現役社会の創出の大きな柱の一つとして取り組んでいます。



平 正三 議員

産廃問題について

質問 高萩市上君田地区山間部の県有地に、産業廃棄物の中間処理施設を建設する事業計画概要書が県に提出され、受理された。事前審査要領によると、設置する場所の市町村長の意見書の提出が求められる。

市長は下君田地区に計画されている産廃施設にどのような見解を持っているのか伺いたい。

市長 産廃施設に対しては、私の政治信条、選挙公約として、さらには市民から付託された自治体の公選職首長として、高萩市内には誘致しない考えである。今後、県知事、地元選出県議、県関係部局、そして、関係機関に対し、産廃施設を誘致しない考え及び意向を伝えて行きたい。

道路問題について

質問 一つは、島名小屋下橋付近の市道205号線の問題について、これまで応急的な対応によって一定の改善がされたが、年数が経過し道路にでこぼこが生じ、大型車が通るたびに大きな振動に悩まされる。



市道 1409号 (高浜運動広場東側の道路)

(その他の質問)
○放射能による健康調査について

え、交通安全上大きな問題であり、その対応について伺いたい。

次に、市道1409号線高浜運動広場東側の道路で、雨が降るとび通学時被害を及ぼしている。道路の改善について伺いたい。

建設経済部長 市道205号線、市道1661号線の2路線は、早急に道路整備計画等を立ててまいりたい。事業が導入されるまでは修繕、白線等を含め、道路の不具合を修正しながら維持管理に努めたい。

市道1409号線は平成24年度に実施設計を行い、平成25年度以降に工事を実施したい。

菊地正芳 議員

1、福祉行政の充実について

①訪問理美容費助成事業

訪問理美容とは、疾病などいろいろな理由から理容室や美容室に行く事が出来ない方を対象に理容・美容師が自宅や施設等へ訪問し散髪等を行うサービスです。要介護者にとって

も、身だしなみは大切であり、散髪で身だしなみを整える事で、生活に張りを感じ、気持ちが明るくなり予防の効果が期待される。訪問理美容費助成事業を展開すべきと思うが見解を伺う。

②緊急通報装置

昨年の震災が日中であつた為、今なお日中に起こりえる災害時の対応に、大変な不安を抱えている。1人でも多くの高齢者の急病や災害に対する不安を解消し命を守る体制構築は重要である。緊急通報装置貸与事業の対象世帯を、日中独居の高齢者まで拡大すべきと思うが見解を伺う。

③ごみ出し支援

この事は、平成23年3月議会でも取り上げた問題であり、1年と半年が経過している。昨年の3月と言えば、あの未曾有の大震災があつた年です。この震災で、がれきの処理に苦慮していた高齢者の方々が、大勢いました。私はこの事を何度も行政に訴え、当時こうしたのがれきの処理に行政が乗り出した実績がある。改善点

は有ると思うが、例えば『生涯現役応援事業』に取り入れ推進していくという方法もありえるが見解を伺う。

2、市民サービスの充実について

①受け付け窓口の仕切り板を設置現在の窓口カウンターには仕切り板がなく、隣席から書類が見えたりするなど、プライバシーが確保されていない。

プライバシーを保護する移動式の仕切り板を設置してはどうか見解を伺う。

②杖ホルダーの設置

役所に出向き窓口で手続きをする時や、トイレの洗面台で手を洗おうとする時など、外出先で両手を使う際は杖の置き場に大変苦慮しています。杖の適当な置き場に困り、何気なく壁やカウンターに立て掛けても安定せず、時々派手な音を立てて倒れることがある。この様な時ちよつと立て掛けたり、引っ掛けたりできる、杖ホルダーやフックがあればとても便利である設置に向け見解を伺う。



トイレに

岩倉幹良 議員

専決処分について

質問 平成24年1月20日付で専決処分された「高萩市の一般職の任期付職員採用及び給与の特例に関する条例」について、総務部長は、「福島第一原子力発電所の事故を受けて1月20日に放射線対策室を設置し、放射線に係る相談業務を行うため、放射線を研究する専門家である大学の講師や研究機関の方を任用する必要がありましたので、その任用条件等を早急に整備しておくべきであると考えた」と述べているように、この条例が意図した任期付の放射線対策専門官を任用することが実現しなかったのだから、専決処分された条例はこの時点でもう本質的な効果は失ったも同然なものである。こうした専決処分の意図が達成されなかった条例をいいことに児童福祉専門官なる役職を設け一般職員として採用し、課長補佐に補職することなど言語道断である。課長補佐になるには市役所に入って20年かかるでしょう。いかに専門職といえ保育士と経験20年というだけで課長補佐ですよ。それも定年まであと2年の58歳の人63歳まで勤められるというのだから如何に常軌を逸した行為であることは明らかである。

しかし法は専決処分した場合、長は次の議会に報告し承認を求めなければならぬが、議会の承認は長の処分を承認して長の政治的責任を解除することにとどまり、承認を得られない場合、長の政治的責任は残るものの専決処分の効力に影響はないとされており、それでは政治的責任をとるとはどのようなことなのか。市長は多分こう答えるであろう。市民にはリコールというそういうシステムがあります。そういう法手段もございいます」と。これでは身もふたもないじゃありませんか。だから議員及び議会は議会改革を議論する前に、こうした問題に真剣に取り組んで行かなければなりません。

総務部長 児童福祉専門官には豊富な知識と経験をあわせました専門性を求め、その年齢や経験年数を設定しております。そうした条件やその職責から課長補佐が適当と判断した。



指定廃棄物最終処分場に指定された上君田地内の国有林付近

我妻康伸 議員

生涯現役について

質問 高萩市はこれまで生涯現役を高萩ビジョンの4本柱に据え、さまざまな事業に取り組んできたと思いますが、これまでの取り組み状況と内容の中で特に重点施策はどのような役の施策を推進していく上で、どのような課題があるか教えてください。

健康福祉部長 生涯現役推進事業につきましては、平成18年より、高齢者の三世代交流・健康維持増進・自立支援・社会参画の4施策を展開し平成20年からは、全国に例のない市独自の取り組みとして、高齢者が小学校的活動等にサポーター役として参画する、はぎっずサポーター制度を開始し平成22年には、日本初となる生涯現役推進条例を制定、昨年10月には、全国初の「生涯現役自治体サミット」を開催しました。今年3月には「生涯現役都市宣言に関する決議」を全国に先駆けて行い、福祉センターに宣言都市の看板も設置したところです。重点施策として挙げるとすれば、「はぎっずサポーター」や、「生涯現役応援事業」、「生涯現役フェスティバル」などが挙げられます。生涯現役フェスティバルをどのように充実させ盛り上げていくか、他市との情報交換をどのように図っていくかが課題と考えています。

市長 個人表彰については、団体のみしかまだ表彰してませんので、選考方法等いろいろ越えなければならぬ課題点がありますけれども、個人に表彰がされた場合、本人のやる気とか生きがい感の創出、そういった本人が元気になるような効果が期待できますので今後、実施に向けた検討をしていきたいと考えております。そして、高萩市ならではのものが今後つくっていくればと考えております。



平成 24年3月 生涯現役都市宣言

質問 地域の中で何らかの活動を行っている高齢者に対して表彰する取り組みを導入してはどうかと考えております。生涯現役を何らかの形で実践している高齢者が、市から表彰を受ければ、それが励みや、はりとなるからです。生涯現役への応援にもつながります。市が生涯現役を実践している高齢者を表彰してはどうかと考えておりますが市の考えをお尋ね致します。

小宅 誠 議員

電気料金値上げに対する対応策について

質問 全国の自治体、又民間企業のPPS〈特定規模電気事業者〉の導入が進んでいます。県内市町村でも東京電力と50KW以上の高压契約、公共施設をPPSに変更した自治体があると言いました。高萩市は行財政健全化を推進中の折、PPSの電力導入計画はあるのでしょうか。また、50KW以上の公共施設は何か所あるのか。22年度の主な施設の支払い電気料はいかほどになるのか。

総務部長 契約電力50KW以上の公共施設は、総合福祉センター、文化会館、花貫クリーンセンター等の11施設があり、年間の電気料金は、値上げ前の金額では、4千508万円になります。主な施設の電気使用料は福祉センター1千315万円、文化会館で723万円であります。PPS導入は平成25年度からの電力供給については交渉中、成立すれば早期に契約を締結したい。その効果としては、使用料の5〜6%程度の費用抑制を見込んでいる。

太陽光発電システム導入について
質問 市内小中学校への設置事業の進捗状況と、災害時の学校避難所としての設備、また、普段の学校生活等における活用が予定されるか。

教育部長 現在設置する機械等の選

定を行っている。今年12月には設置完了となり、災害時の非常用電源として、また、通常の学校生活用としても電源として使用する方向である。

質問 駅東地区の高台避難所として指定している東小、高中、さらに高浜市営住宅屋上や民間避難ビル確保と、それぞれの建設設備の進捗状況は。

総務部長 民間の津波避難ビルの指定は実現していない。施設管理者の内々の同意をいただいている施設が6施設あり、避難可能場所と理解している。現在進めている津波避難シミュレーション等の計画が完成すると、津波避難ルートを示唆します。避難困難区域の対応も明確にしたい。

市長 津波避難区域が抽出された時点で、津波避難タワーの設置等も含めて検討する考えがある。

建設経済部長 高浜市営住宅に外階段の設置計画は、避難可能な施設の調査と設計委託業務の発注に向けて準備進行しており、平成25年度から工事着工する。



津波避難ビルとして整備される高浜市営住宅

大足光司 議員

震災における津波対策と避難対策について

質問 本市の震災における対策やハザードマップはどれほどの震度と震源地を予測して策定し設置計画をされているのか。津波が発生した場合の避難ルートはどのような場所を知らせているのか。

総務部長 茨城県で公表した震源地とその地震の規模を採用。具体的には昨年の3・11に発生した地震の震源域でM9・0の地震津波と、延宝房総沖地震と同じ震源域でM8・4の地震と津波2種類のシミュレーションの結果を合わせ満潮時等、悪条件の下で発生した場合を想定している。津波避難ルートは本年3月に行った津波避難訓練で2ルートの避難経路を示し、大津波警報発令時の避難先は市報お知らせ版で周知している。現在進めている津波避難シミュレーション等計画が完成すれば、それぞれの居住場所からの津波避難ルートを示すことができる。また、避難困難区域の対応の仕方も明確となる。

質問 市は防災教育や防災訓練、情報の伝達など今後どのように執行して行くのか。

総務部長 災害情報については、J-ALERTと連動し、同報系防災行政無線から注意情報を発信する。

その後J-ALERTと連動し、瞬時に臨時災害FMより詳細を放送。また、ホームページやツイッター等を活用し情報発信をする。防災教育については、小学生を対象に「萩っ子防災訓練」を毎年実施し、防災かるた等、遊びの中から防災意識の高揚を図っている。今後、自主防災組織向けの研修等も取り入れ、防災訓練についても同報系防災行政無線を活用した訓練の実施に向け調整していく。

質問 災害弱者に対する支援策はどのように検討されているか。

総務部長 要援護者の対応については、名簿を庁内関係各課、消防本部、高萩市社会福祉協議会、地区民生委員において共有し、災害発生時には職員の地区担当制を設け、避難誘導を行うこととしている。

今後の課題としては、消防団や自主防災組織等、情報の共有や要援護者に対する支援者の選定の難しさ等が考えられ、災害時要援護者避難支援計画や、災害時要援護者避難支援マニュアルを策定する中で整理する。



津波を想定した避難訓練

議案質疑

第3回定例会に提案された議案
に対して次の質疑がされました。

議案第58号 平成24年度高萩市
一般会計補正予算(第6号)

岩倉幹良 議員

質問 児童福祉総務事務経費に増額補正された439万4千円は、任期付職員として採用された課長補佐の給料ではないと思うが。

健康福祉部長 予算編成は係長2名主幹クラス2名合計4名で予算を計上した。児童福祉専門官が新年度に入りまして実質5名になりましたが実際は係長2人のところが1人になり新たに職員が1名増えました。そこで予算的に余裕が出ましてその分の差額を計上した。

質問 課長補佐の年収は635万円と推定されますが、こうした職員を配した割には児童福祉総務費の当初予算は平成23年度決算額とほぼ同額である。新たに配属された課長補佐の児童福祉専門官には前年度と同じ予算の中でどのような分野の仕事を担当されるのか。

健康福祉部長 児童虐待問題や子育て

支援ニーズに対応できる専門官が必要ということでありまして、具体的に相談を受けて各家庭を訪問し解決策に向けて取り組んでいる。

質問 それなら課長補佐に補職しないで、児童福祉分野専門の仕事だけにつけなかったのか。これほどまでのベテランが配置されたにもかかわらず、前年度同様家庭児童相談室を設け相談員報酬年約130万円ほど支払っているが、前年度まで5年間この職にあった方を児童福祉専門官に任用したのだからこの相談室業務は専門官の仕事でありダブる。

菊地正芳 議員

質問 霊園管理経費129万4000円について改めて目的、どういったお金を積み立てるのか伺う。

市民生活部長 平成23年度の決算に伴い高萩霊園、高萩第2霊園事業分の歳入、手数料、管理料を合わせた金額323万340円から、これに要した経費193万6592円を差し引いた残額を積み立てるものです。この積み立ては、菊地議員からご指摘もあり霊園の維持管理及び運営の財源にする為に積み立てるものです。具体的に、高萩霊園等の駐車場や外周道路の舗装など、大規模修繕や改修の費用の一部として活用します。

再質問 私は、毎年霊園整備の推進を訴えていますが、一向に整備が進

んでいない状況をどう考えているのか？事業計画が出来ていればお知らせ下さい。

市民生活部長 現在、災害復旧工事に取り組んでいますので、一日も早く完成させ、利用者の方々の不便を解消してまいりたいと考えています。基金をできるだけ早く活用できるように、計画をしていきます。

再質問 具体的に計画を立てるのは、今年中なのか今年度中なのか、また、計画は出来ていたんだが、震災で変更になったとすれば、そのときの計画内容を伺います。

市民生活部長 計画が出来ていなかったというのが事実です。今後速やかに計画を策定して環境整備に取り組むよう検討します。

鈴木英樹 議員

質問 ①穂積家住宅活用「高萩茶房」経費の200万円について、この事業は高萩市単独で行うのか。また、この事業の目的と内容、委託先、委託内訳、昨年の実績を伺う。

②赤浜田園都市センター改築事業の件であります。地元の方々の皆さんの方の大変なご協力と運営されていたと伺っていました。今後、従来と違った運営がなされるのか伺う。

③津波避難東西連結道路整備事業の事業内容について伺う。

経営戦略部長 ①昨年の古民家スウィーツカフェ高萩茶房が非常に好

評でした。今年度は市単独で行います。風評被害を払拭するに、安全・安心の情報県内外に発信し、誘客を図るものです。委託先は高萩市商工会を予定し、委託料内訳は、会場設営、PR広告宣伝費を計上しています。昨年は、茨城県が主体として57日間営業し、延べ1万2635人来店いただき、売り上げ実績、226万5000円でした。

建設経済部長 ②建設後の管理運営につきましては、田園都市センター委員会の皆様と調整していきたいと考えます。③踏切の拡幅、車道に対して3mを2車線、歩道を2・5m程度、踏切前後の歩道20m程度を改良し、また、排水能力拡大のための工事となります。

平 正三 議員

質問 津波避難(浜野町踏切)整備事業について、現況から工事後どのように変わるのか。事業費はどのくらいになるのか。

工期が24年度から27年度と約3年半と長期になるがどうしてか。

建設経済部長 車道については3メートルかける2車線、歩道2・5メートル、側道50センチとなり8・1メートルの幅が9・5メートルになる。事業費は4億円、出来る限り工期を短縮していきたい。

討 論

第3回定例会に提案された議案等
に対して次の討論がされました。

決議案第3号 任期付職員採用調
査特別委員会設置に関する決議の
提出について

賛成 討論

小宅 誠 議員

任期付職員採用調査特別委員会設置に関する決議の提出に賛成の立場から討論いたします。高萩市職員の採用に関する規則を開読してみますと、「高萩市職員採用試験委員会」を設置することと記載されている。また、一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例に基づいて、採用試験要項を1月20日に専決処分を行った。このことは2月23日の議会全員協議会において報告第1号として「特例に関する条例の制定」の報告。この時点では放射線対策室を設置し、放射線対策専門官を任用するためのものであったと理解していました。1月20日の専決処分は、放射線対策専門官の任用が大義であった。しかし、この間にか児童福祉専門官の任用に取って代わって、

受験申し込みの受け付けが2月27日から3月16日までの期間で始まっていた。それも試験委員会を開かず、福祉専門官を採用したことに、当時の試験委員会の委員長は「2名の識見者委員に対し招集の通知を出していないことと、事前に了解は得ているものの、試験委員会の公正性の疑念を抱かせてしまったことに、お詫びいたします」と答弁している。これら一連の経緯を市民のかたがたは、疑問に変わり始めています。そこで数年前の大分県の教員採用試験を思い出した。市民から「議会はどのように処理するのか」との問いかけに、議員一人一人が前向きに、調査特別委員会を設置して、市民に本当の答えを返す議員団になろう。

陳情第5号 茨城県厚生連県北医療センター高萩協同病院に対し、患者給食に外部委託を導入せず、地産地消で地域振興を進め、地域医療を充実する立場で病院運営を行うよう働きかけを求める陳情について

賛成 討論

今川敏宏 議員

高萩市としては協同病院が公的病院としての役割を努めているかどうか

か、常に確認する立場にあります。また公的医療機関で働く以上、その職員はその自覚を持たなければなりません。今回の陳情はその職員から提出されているわけですが、陳情書の原文を見ると、市と病院との関わりに関する部分以外に、経営側と従業員間の労使間の問題が含まれており、その部分においては、市として病院側に言及できるものとは思われません。公的医療機関として採算性を追求しないことを求められながら、一方では経営健全化も求められている現在の高萩協同病院の状況は当にこの矛盾の狭間で、最善を求めながら苦悶しているものと思われます。その上で高萩市として協同病院に求めたいものとして、医師確保はもとより、災害時対策と地産地消の推進ではないでしょうか。昨年3・11のことを考えると、災害時の食事を含む対策を確立しなければなりません。防災計画のうち、病院対策においては、どうしても協同病院の協力が必要であります。また、地域経済が冷え込む中で、地産地消の推進で活性化することも大事な市の政策になります。以上、現在の社会状況、病院側の状況、市としての立場を鑑み、今回のこの陳情を採択することによって、最善のための協議が進むことを期待し、賛成討論いたします。

平成24年第4回高萩市議会定例会は、次のとおり開催される予定です。

12月7日(金)	本会議	議案上程
12月10日(月)	本会議	一般質問
12月11日(火)	本会議	一般質問
12月13日(木)	本会議	議案質疑
12月14日(金)	文教厚生委員会	
12月17日(月)	総務建設経済委員会	
12月18日(火)	震災復興等対策特別委員会	
12月19日(水)	議会改革等調査特別委員会	
12月21日(金)	本会議	採決

※日程等が変更になることがあります。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

たかはぎ
災害エフエム

☆周波数

FM 76.8 メガヘルツ

☆議会本会議の生中継
を放送しています。

第2回臨時会 議案等審議結果

番 号	件 名	結 果
報告第18号	専決処分の承認を求めることについて(平成24年度高萩市一般会計補正予算(第4号))	原案承認
議案第47号	高萩市仮設庁舎整備工事請負契約の一部を変更する契約の締結について	原案可決
議案第48号	高萩市文化会館災害復旧工事請負契約の一部を変更する契約の締結について	原案可決
議案第49号	平成24年度高萩市一般会計補正予算(第5号)	原案可決

第3回定例会 議案等審議結果

番 号	件 名	結 果
報告第19号	平成23年度高萩市一般会計継続費精算報告書について	受 理
報告第20号	高萩市健全化判断比率について	受 理
報告第21号	高萩市資金不足比率について	受 理
議案第50号	高萩市教育委員会の委員の任命について	原案同意
議案第51号	平成24年度高萩市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第71号	高萩市工業用水道事業会計利益の処分について	原案可決
決議案第3号	任期付職員採用調査特別委員会設置に関する決議の提出について	原案否決
議案第52号	高萩市公告式条例の一部改正について	原案可決
議案第53号	高萩市火災予防条例の一部改正について	原案可決
議案第54号	高萩市災害対策本部条例の一部改正について	原案可決
議案第55号	高萩市リーベロたかはぎの設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第56号	市有地の処分について	原案可決
議案第57号	茨城県後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議について	原案可決
議案第58号	平成24年度高萩市一般会計補正予算(第6号)	原案可決
議案第59号	平成24年度高萩市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第60号	平成24年度高萩市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第61号	平成24年度高萩市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第62号	平成24年度高萩市水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第63号	平成24年度高萩市工業用水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第64号	平成23年度高萩市一般会計歳入歳出決算認定について	原案可決
議案第65号	平成23年度高萩市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案可決
議案第66号	平成23年度高萩市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案可決
議案第67号	平成23年度高萩市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案可決
議案第68号	平成23年度高萩市霊園事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案可決
議案第69号	平成23年度高萩市水道事業会計決算認定について	原案可決
議案第70号	平成23年度高萩市工業用水道事業会計決算認定について	原案可決
意見書第4号	教育予算の拡充を求める意見書の提出について	原案決議
意見書第5号	B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書の提出について	原案決議

請願・陳情の審議結果

件 名	結 果
茨城県厚生連県北医療センター高萩協同病院に対し、患者給食に外部委託を導入せず、地産地消で地域振興を進め、地域医療を充実する立場で病院運営を行うよう働きかけを求める陳情	採 択
教育予算の拡充を求める請願	採 択
B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書採択の請願	採 択
東京電力福島第一原発事故により飛散した放射性物質の子供の甲状腺検査を求める陳情書	採 択

第3回臨時会 議案等審議結果

番 号	件 名	結 果
意見書第6号	指定廃棄物の最終処分場候補地の白紙撤回を求める意見書の提出について	原案決議

第4回臨時会 議案等審議結果

番 号	件 名	結 果
議案第72号	平成24年度高萩市一般会計補正予算(第7号)	原案可決

高萩市議会の本会議を(平成 24 年 9 月定例会以降) インターネットで生中継並びに録画配信をしています。

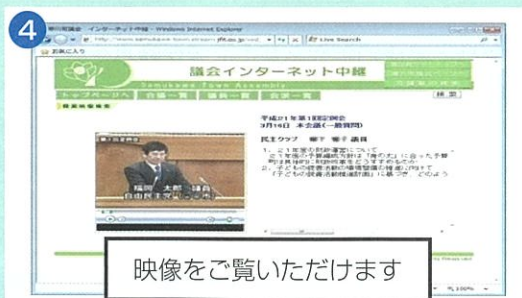
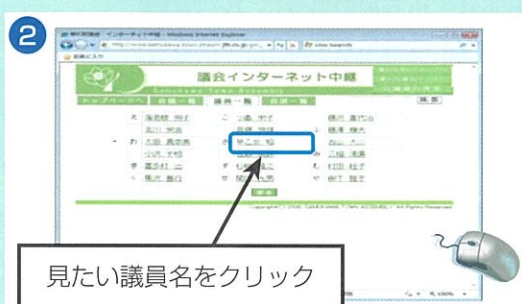
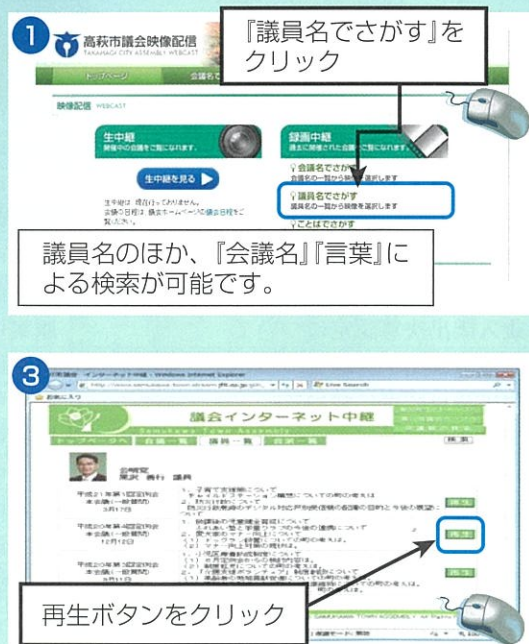
・高萩市議会ホームページの『議会映像』を選択し、以下の手順でご覧ください。

生中継をご覧になる場合



平成 21 年以降の
高萩市議会本会議の
会議録も
平成 24 年 9 月から
インターネットで
閲覧できます。

録画をご覧になる場合 (録画はおおむね開催日の 1 週間後からご覧になれます。)



※手順に示している図は参考図です。

委員長 今川敏雄
副委員長 大田和司
委員 飯島康伸
委員 小岩倉幹良
委員 岩倉光司
委員 田所良司
委員 大田和司
委員 小岩倉幹良
委員 飯島康伸
委員 小岩倉幹良
委員 飯島康伸

議会だより 編集特別委員会

「暑さ寒さも彼岸まで」酷暑の 9 月議会でした。暑さのなか、仮設庁舎へ移転した新議場での審議。また、議会映像のインターネット配信が始まりました。新設傍聴席では市民の方々が、議会の流れを注目し、議場全体が緊張につつまれた一般質問の 2 日間だった。開会中に全議員による学習会が開催された。脳裏をかすめたテーマ「どういう議会にすれば市民が納得するか」。執行機関と議会は協力しつつも緊張関係を保ちながら政策を決定し、実施する。議会に与野党はあるものの、全体としての議会は、執行機関をチェックする立場にあることを忘れてはならない。9 月議会は、市民目線に近づこうとして、緊張の中で 11 名の議員が一般質問に登壇しました。

(小宅 誠 記)

編集後記